

# イリーナペレンとマラトシェミウノフ の特別コンサート

美しい体験が感動をうむ

涙が出るほどの美しい体験をしたことがありますか。

感動体験が、明日のエネルギーを与え、頑張る力、

問題解決力、生きる力を与えます。

感動こそが、人間を育てます。

NPOちきゅう市民クラブ 担当川島 :090-3576-0075

# 企画1: 音楽とバレエ感動体験教室 (2022年9月13日から27日の間、あるいは2023年)



# 出演者

## ■幽玄のバレエ美の世界

- 世界のトップバレエダンサー ミハイロフスキー劇場プリンシパル
- イリーナペレンとマラトシェミウノフによる優雅でダイナミックな最高に美しいバレエ  
瀕死の白鳥、メロディー、

## ■美しい音楽、メロディー

ピアノ:ユーリー・コジェバートフ

フルート:綱川泰典 (全盲)

ご予算に応じて、演奏家やバレエダンサーを増やせます。

時間は、40分から1時間半の間で、プログラムさせていただきます。



# イリーナ・ペレン

Санктペテルブルグ、ミハイロフスキー劇場のプリンシパル バレリーナ。

ワガノワ バレエ アカデミーに学ぶ。卒業後、 Санктペテルブルグのミハイロフスキー劇場に入団。

すぐにソリストとして抜擢される。ロシア、ペルミでのアラベスク バレエアーティストの為の国際コンペティション及び、イタリア、リエティでの国際バレエコンペティションの優勝者。

2010年よりロシアの国家名誉アーティスト。全ての演目で主役を演じる。

11歳より、日本公演に参加。ダンスマガジンの表紙を度々飾る。

北野武と、CMで共演。

日本の外務省が、世界中の著名人から選出し、東日本大震災後の

日本をPRする「友達からのメッセージ」日本を語るにて、大好きな日本について、語っている。

2014年より、K&Aとの国際芸術交流・教育事業は、人材育成に大いに貢献している。



# マラト・シェミウノフ

ロシア、サンクトペテルブルグ、ミハイロフスキー劇場プリンシパル ダンサー。

ワガノワ バレエ アカデミーを2001年に卒業後、ソリストとして、ミハイロフスキー劇場に入団。

その後、プリンシパル ダンサーとなり、それ以来ミハイロフスキー劇場の顔として、サンクトペテルブルグ、モスクワは、もとより、ローマ、ロンドン、ベルリン、パリ、東京、マドリッド、ニューヨーク、ブラジル、メキシコなど国際的なステージで活躍。

195センチの長身を活かした華のある演技、ダイナミックはジャンプと高いリフトは、世界中のファンを魅了している。レパートリーは、「白鳥の湖」のジークフリート王子、ロットバルト、「スパルタクス」スパルタクス、クラッスス他、唯一無二の存在感を出している。プライベートでは、夫婦であるイリーナ・ペレンとの共演は、エレガントでダイナミック。息もピッタリで、「ロシアン ビューティー」を体現している。バレエダンサーの他に、アーティストとしての活動もしている。



# ユーリー・コジェヴァートフ



1982年 モスクワ・グネーシン音楽大学（現在グネーシン記念ロシア音楽アカデミー）卒業。

ピアノ専攻、ボリス・ベールリン教授に師事する。

1982年～1985年 ロシアのヴァイオリン名手で、6つの国際コンクール受賞の経歴を持つベズヴェールホニー・ミハイルと共演。

1984年～マリンスキー劇場ピアノ演奏担当。フランス、スペイン、アメリカ、インド、韓国、ロシアの諸都市で公演に参加。

1992年 クロステルシャントル(ドイツ)のヴァイオリン国際コンクールにて演奏家賞を受賞。

コンサートマスター伴奏者ディプロマ 及び演奏指導ディプロマを取得。

1995～1997年、台湾のLAN YANG DANCERS COMPANYのピアノ伴奏を担当。

1998～2001年、台北文化大学、イェンリン市の音楽大学にて教育活動を行う。その間に国際コンクール受賞者4人を育てた。

2006年～、日本にてNBAバレエ団のピアニストとして、また、ソリストとして、オーケストラ、室内楽とも共演。

世界中のバレエダンサーから信頼篤いピアニスト。

# 綱川泰典(フルート)



10歳よりフルートを始める。

筑波大学附属盲学校(視覚特別支援学校)音楽科、武蔵野音楽大学音楽学部器楽科を卒業。

これまでに、ヤマハ賞、「第42回全日本盲学生音楽コンクール」第2位(1位無し)入賞、

「第10回日本クラシック音楽コンクール」全国大会入選、「第1回ドイツ音楽コンクール」優秀賞など受賞の他、埼玉県三大偉人の賞のひとつである「第1回塙保己一賞」奨励賞、第12回チャレンジ賞を受賞している。

2004年、日英赤十字社の青年交流事業に参加し、カーネギーホールや ウィンザー城、日本大使館にて演奏。

2007年、障害者リーダー育成海外研修派遣事業の第27期グループ研修生リーダーとして渡欧し、ドイツ・ラインラントファルツ

警察オーケストラと共演。その後も数度にわたり、ドイツ、オーストリアでコンサートに出演。ヨーロッパに於ける点字楽譜の状況調査の行う。

NTV「24時間テレビ」他、TVやラジオ等に出演。

2017年より、NPOちきゅう市民クラブ、K&A主催によるロシアのピッコロヴァイオリン奏者、グレゴリーセドフとの「パラリンピックのその先へ、パラアーツ」「ミュージック フォーオール」他に出演。

現在、ソロ演奏を中心に、「コバケンと仲間たち」の首席フルート奏者を務めるなど、幅広い音楽ジャンルに取り組み、活躍し、後進の指導にも当たっている。日本フルート協会会員。